

福井県立若狭図書館学習センター1/2

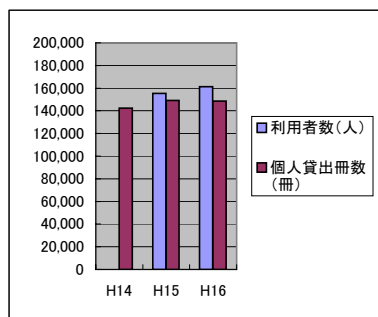
若狭図書館学習センターはより良い学びの場を提供します

所在地	小浜市南川町6-11		
設置年月日	平成元年6月2日(平成7年10月1日改称)		
施設の種類	図書館・生涯学習センター	施設管理主体	県
設置の目的	図書館機能と生涯学習センター機能を備えた複合施設で、図書や資料を有効に活用し、学習し、表現し、交流する場やそのために必要な学習情報を提供し、県民一人ひとりの生涯学習の充実を目指す。		
概要 (構造、面積、主な機能)	鉄筋コンクリート造2階建て・延床面積4,697.99㎡ 図書部門:蔵書25万冊(開架7.5万冊、書庫17.5万冊)		
職員数	職員9人 アルバイト3人 計12人		

利用状況等

	H14	H15	H16
利用者数(人)	—	155,441	161,379
個人貸出冊数(冊)	142,448	149,200	148,613
マナビ・フェスティバル)*	150	230	110
福井ライフ・アカデミー主催事業(人)	2,060	1,723	1,239
若狭図書館学習センター主催事業(人)	105	199	374

*ただし記念講演会入場者数



利用者負担(利用料金)等

使用時間	午前		午後		全日	
	9:00 ~12:00	12:00 ~17:00	12:00 ~17:00	9:00 ~17:00	9:00 ~17:00	17時以降 1時間につき
施設						
多目的ホール	8,800円	16,000円	16,000円	24,000円	24,000円	3,000円
講堂	2,600円	4,000円	4,000円	6,500円	6,500円	800円
研修室	1,700円	2,600円	2,600円	4,000円	4,000円	500円

複写手数料	白黒	10円
	カラー	80円

利用状況の推移	入館者数は増加しているが、貸出冊数は15~16年度は横ばいの状況にあり、一層の利用者サービスの向上のための工夫に努めます。〔図〕
	マナビ・フェスティバルを含めた福井ライフ・アカデミー主催事業では、講演会講師の知名度や、講演会テーマによって、参加者の人数にばらつきが出ました。県民のニーズに合ったテーマや講師の選定をさらに心がけます。〔生〕
	若狭図書館学習センター主催事業は、内容・回数とも豊富にしたため、参加者が増加しました。今後も内容の充実に努めます。〔生〕

(注) 〔図〕は図書部門・〔生〕は生涯学習部門

16年度の特徴について

事業実績	開館日について、ゴールデンウィークの全日および夏休み期間中の月曜日を臨時開館するなど、県民の利便性の向上を図りました。
	センターだよりの発行やホームページへの掲載を通して、積極的に図書館の活動内容をアピールしました。〔図〕
	話題となった国内外のテーマに関する資料の展示や、郷土資料を新たな視点で紹介する展示を行うなど、各種企画展示の充実を図りました。〔図〕
	小学校等の体験学習や総合学習での利用を積極的に受け入れました。〔図〕
	福井ライフ・アカデミー事業における「読書ボランティア講座」や「こども水彩画教室」では、開催を心待ちにしている参加者が多く、高い受講率となりました。〔生〕
	センター主催事業における「こども映画会」(計4回)では、ほとんどの回において親子連れを中心とした70名前後の参加者がありました。〔生〕

各種行事の開催

〔図書館〕

「秋の読書週間」、「ふるさとの日」、夏休み・春休みにあわせて、企画展を行いました。

さらに、嶺南地域在住の画家等の展示会を行いました。

また、年間を通じてこどもコーナーおよび一般資料コーナーにてテーマを設けた資料の展示紹介を行いました。

〔生涯学習センター〕

①福井ライフ・アカデミー主催事業

- 郷土学習講座
- 家庭教育講座
- 現代的課題講座

②マナビ・フェスティバル

- 広域学習グループ交流大会
- わくわくスクランブル

③主催事業

- こども映画会
- おはなし会
- クリスマス企画



図書部門の利用者サービス

・レファレンスサービス(調査・相談)

図書館司書が利用者の調べ物に必要な資料や情報を紹介したり、資料を探す手伝いをするサービス
・リクエスト、相互貸借

利用者が求める資料を蔵書していない場合に購入したり、県内外の図書館とのネットワークにより資料を借りて提供するサービス

・インターネット予約サービス

利用者が家庭のパソコンから、インターネットで県立図書館の資料を予約することができるサービス。

若狭図書館学習センターホームページ

<http://www.hokuriku.ne.jp/wakuwaku/>

福井県立若狭図書学習センター(2/2)

行政コスト計算書(平成16年度) (単位 千円)

		総額	構成比
人にかかるコスト	人件費	89,739	57.5%
	退職給与引当金繰入	▲ 2,531	-1.6%
	計	87,208	55.9%
物にかかるコスト	物件費	52,778	33.8%
	維持補修費	1,803	1.2%
	減価償却費	13,946	8.9%
	計	68,527	43.9%
その他	公債費(利子)	153	0.1%
	その他	74	0.0%
	計	227	0.1%
合計		155,962	100.0%

バランスシート(平成17年3月31日現在) (単位 千円)

借方		貸方	
資産		負債	
有形固定資産	1,019,170	固定負債	70,739
投資等	0	流動負債	0
流動資産	0	正味資産	948,431
計	1,019,170	計	1,019,170

施設の特徴

さまざまなジャンルの蔵書を有しており、生涯学習の拠点施設として、多様化、高度化する県民の学習ニーズに応えています。

[図書館]
嶺南地域の公共図書館の中心的な存在として、市町立図書館を通じた所蔵書籍の貸出・図書館訪問などを実施しています。
福井県、特に嶺南地域に関する資料の収集・保存にも取り組んでおり、同地域の歴史、文化、経済等の情報を広く県民に提供し、利用されています。
[生涯学習センター]
おはなし会などの子ども向け行事の開催を通じて、子どもの読書活動の推進を図っています。

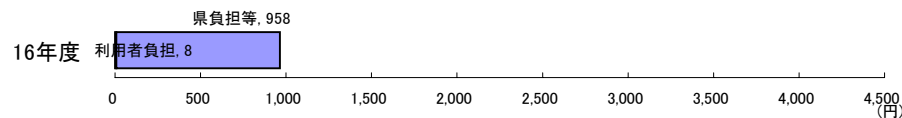


(単位 千円)

収入	利用料等収入	1,229	0.8%
	その他収入	32	0.0%
	一般財源	154,701	99.2%

利用料等収入計	1,229,000 円
利用者1人あたり平均利用料	8 円
利用者1人あたりコスト	966 円

利用者1人あたりのコスト負担の状況



今後の課題

より一層の利用拡大を目指して、県民の要望に沿ったサービスの多様化が必要です。
市町立図書館ならびに生涯学習センターとの連携をさらに強めていきます。

今後の事業方針
取り組み内容

[図書館]
郷土の先覚者の足跡を学習するため、「五箇条の御誓文」や「解体新書」等を活用した企画展示や市町立図書館等への貸し出しサービスを検討しており、所有する貴重な歴史資料の活用を図って生きます。

郷土(特に嶺南地域)に身近に触れ、郷土の歴史や偉人を知ってもらう企画展を継続して実施します。

「白川文字学コーナー」に、幅広い年齢層の県民が漢字・文字に親しむよう、子ども向けの資料の充実や遊びを取り入れた催しなどの取組みを検討しており、「白川文字学」の一層の普及啓発と本県における漢字文化の振興を図っていきます。

遠隔地の利用者が、若狭図書学習センターで借りた本を地元の市町立図書館で返却できるようにするサービスや、県立・市町立図書館間で実施している図書搬送回数を増やし、市町立図書館を窓口にして若狭図書学習センターの本をより早く借りられるようにするサービスの充実を検討します。

[生涯学習センター]
福井ライフ・アカデミー主催事業において、県民講師の養成を目的とした「ボランティア講師養成講座 友愛塾」を開講し、多様化する県民の学習ニーズに対応して、自らが自主的に講座を企画運営する県民講師の支援を行います。

バランスシート、
行政コスト計算書の
特色

- 平成16年度で起債の償還が終了したため、公債費が大きく減っています。
- 物にかかるコストより、人にかかるコストの割合が高くなっています。
- 利用人数は、ここ数年伸びていますが、図書の貸出は無料のため、利用者1人あたりのコストに占める利用料収入の割合は低くなります。